



水から火への修法

2025年3月30日、
弘法大師伝の弁才天法を100座修することで、
お導きいただいた高野山・嶽の弁才天への
感謝の形を表明しようと開闢いたしました。
8月31日で目標の100座。さらに同年10月18日、123座で
「今期はここまで。火へ進みなさい」との弁才天のお声。
いよいよ真言秘法・焼八千枚護摩への始まりです。

修法とは

弘法大師の弟子たる真言僧が行うことのなかで、
もっとも特徴的なものは「修法」にあります。この修
法は読経とも違い、修することにより志す仏さまと
の対話がダイレクトに密に行えるというものです。
高野山に残っている一番古いものは、修法が書か
れたものも含めた經典群であるといわれます。



弁才天秘法とは

私が行う弁才天秘法は、祖師・弘法大師が師
匠である恵果和尚より伝授を受けられたお
次第を正式なルートで習得して行じるもの
です。短いけれど大変強い修法で、悉地を高
めるだけでなく現実をも動かしていきます。
具体的には「トラウマの洗い流し」「つながり
の確認」「執着を断ち切る」「立ち位置をは
っきりさせる」「前世の残滓の統合」など。これ
により新たな仏像や神社も建ち現れること
もあります。

弁才天は古代インドのいまはなき『サラスワ
ティ河』の化身。ヒンドゥーの女神となりさら
に仏教でも信仰され、豊かさや優しさの象徴
であると同時に、岩をも砕く水のイメージか
ら破壊と再生の女神としても尊崇されます。
日本では鳥居をいただく宇賀弁才天として
も定着。江戸時代には七福神の二柱として
も人気を博します。日本で最も受け入れられ
た仏教女神といえるでしょう。

水から火へ

かつて空海は、湧き水を噴出させ
そこから不動明王を感得したとさ
れています。このことから水の修法
である弁才天法を修することで、
八千枚護摩に向かうベースがで
きたということができるでしょう。



In the prayers of Shingon
Esoteric Buddhism, one can
obtain not merely comfort
but tangible results, such as
healing illnesses and fulfilling
wishes. By understanding

the workings of the past,
present, and future, and
immersing oneself deeply in
the teachings, it becomes
possible even to influence
karma.

火の祈りは、語られなかった魂たちへの応答である。

まだ癒されていない記憶のためにある。

祈りは、いまを生きる者のためだけでなく、

